



# ふじのくに炭素貯蔵建築物認定制度

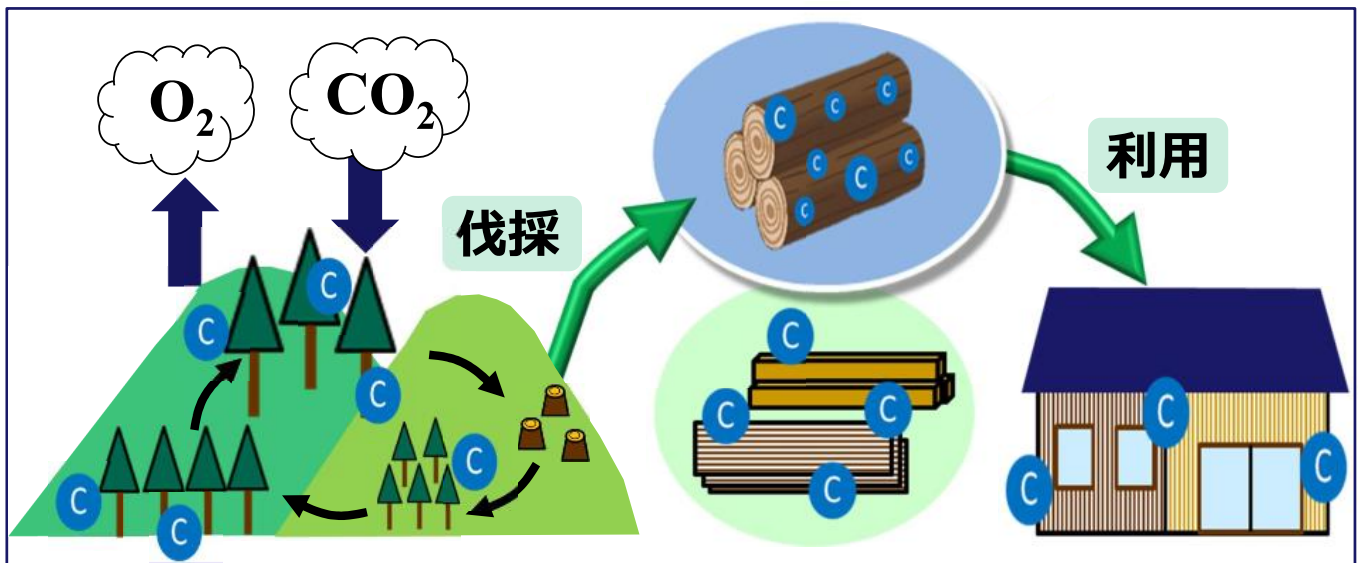
～環境貢献度の「見える化」による県産材の利用促進～



経済産業部 森林・林業局

## 木材利用による脱炭素への貢献

- ・ 森林は樹木の成長過程で二酸化炭素を吸収
- ・ 木材を利用することで建築物等に炭素（C）を貯蔵



木材の利用促進により  
2050年カーボンニュートラルに貢献

# 県産材の利用促進に向けた取組

住宅・非住宅への助成等に取り組む

住宅



例：戸建住宅

鉄骨造等

木造

非住宅



例：社屋・店舗

木造

鉄骨造等

非住宅：木材利用の余地が大きい

これまでの取組に加え  
非住宅への県産材利用を強化

3

## ふじのくに炭素貯蔵建築物認定制度 (R5.4~)

非住宅（社屋・店舗等）の建築主に  
炭素貯蔵量を記載した木製認定証を交付

環境貢献度の  
「見える化」

企業等の  
気運向上

非住宅への  
県産材利用



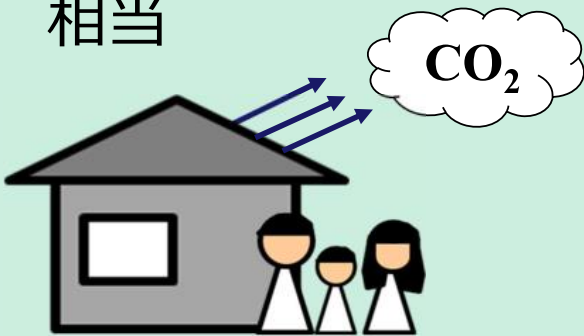
炭素貯蔵量(県産材利用量相当)

4

# 令和5年度の認定

| 認定件数 | 炭素貯蔵量                   | 認定施設の例            |
|------|-------------------------|-------------------|
| 40   | 1,059 t-CO <sub>2</sub> | 社屋、店舗、<br>社会福祉施設等 |

約300世帯分の  
年間CO<sub>2</sub>排出量に  
相当



認定式の開催

## 認定建築主（企業等）からの声



取引先の銀行や設計事務所が木材  
利用に関心を持ってくれた

株式会社 杉浦建築店

地域材を使う大切さをPRできて  
嬉しい

社会福祉法人天竜厚生会





木材の香りや温かみが、緊迫する  
仕事場の癒しになる

お茶畑助産院



# 非住宅建築物への県産材の利用拡大に向けて

## 炭素貯蔵建築物認定制度による気運の向上

| 取組の対象 | <b>設計者（提案者）</b><br> | <b>建築主（利用主体）</b><br> |
|-------|--|--|
| 取組の内容 | <ul style="list-style-type: none"><li>○ 設計費への助成（R6創設）</li><li>○ 建築物木材利用促進協定（建築士事務所協会との連携）</li></ul>  | <ul style="list-style-type: none"><li>○ 非住宅建築物への助成（R6拡充）</li><li>○ 県産材を利用した建築物の表彰</li></ul>            |

非住宅建築物への県産材の利用拡大